

平成28(2016)年度

事業計画書

自 平成 28(2016)年 4 月 1 日

至 平成 29(2017)年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

(公財)北九州国際交流協会 平成 28(2016)年度事業計画書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施する。

1 外国人市民支援事業 (26,136 千円) [27年度 19,242 千円]

(1) 多言語による生活情報の提供 (1,104 千円) [27年度 1,075 千円]

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体により提供する。

① 外国人市民への情報提供

外国人市民向けに毎月、英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごでメールによる情報提供を行う。また、あわせて印刷版もスペース等で配布する。

② ホームページによる広報

日本語・英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行う。

(2) コミュニケーション支援事業 (25,032 千円) [27年度 18,167 千円]

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会で孤立することなく日本人と共生できるように支援を行う。

① 外国人相談

日本語・英語・中国語・韓国語による相談員を増員し、八幡西区コムシティ及び小倉北区役所の外国人インフォメーションセンターにおける外国人相談及び情報提供の充実を図るとともに、在住人口の増加が著しいベトナム語による相談体制を構築する。また、専門家による法律、ビザ・入管関係、日常生活での悩みごとの無料専門相談会を毎月 1 回実施する。

② 行政通訳派遣

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣するとともに、外国人インフォメーションセンター等での通訳サポートを行う。通訳者の登録については、より多言語の人材確保を図る。

- ③ 医療通訳派遣
外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼があった際に医療通訳者を病院に派遣する。また、利用の促進に向けた啓発・PR活動を強化する。
- ④ 外国人市民への防災支援
災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。
- ⑤ 外国人子ども支援
多文化の子どもたちの日本語能力の向上と学習支援事業を実施する。
- ⑥ 生活者としての日本語学習支援
外国人市民を対象に、日本語の習得と生活情報の提供を目的とした協会主催の日本語教室を実施する。また、日本語コーディネーターを増員し、受講者のレベルに応じた学習内容に対応できるよう充実を図る。
- ⑦ 地域日本語教室との連携
市内のボランティアによる地域日本語教室との情報交換を強化して連携を密にし、人材育成や学習者の発表の場を提供する等必要な支援を提供する。
- ⑧ 外国人日本語学習者へのエンパワメント支援
協会主催の日本語教室受講者に対し、就労や社会参画に役立つ講座を実施する等の支援を行う。
- ⑨ 中国帰国者の交流支援
中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会とのつながりができる居場所づくりを提供し、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

2 行政・民間団体連携事業 (2,314千円) [27年度 2,198千円] *再掲事業の予算額は除く

- (1) 民間団体の支援・連携推進事業 (2,314千円) [27年度 2,198千円]
北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体の活動支援や連携を図る。
 - ① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援
キーネットの目的を達成するための活動を支援するため事務局として活動する。
 - ② 民間団体の活動支援
本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦する。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行う。

③ 地域日本語教室との連携（再掲）

市内のボランティアによる地域日本語教室との情報交換を強化して連携を密にし、人材育成や学習者の発表の場を提供する等必要な支援を提供する。

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣業務（再掲）

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣するとともに、外国人インフォメーションセンター等での通訳サポートを行う。通訳者の登録については、より多言語の人材確保を図る。

② 外国人市民への防災支援（再掲）

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会とのつながりができる居場所づくりを提供し、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

④ 多文化共生の人材づくり（3-（5）に掲載）

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

3 グローバル人材育成事業（14,274千円） [27年度 9,217千円]

(1) 国際理解教育の推進事業（716千円） [27年度 736千円]

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進する。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡よかトピア国際財団・北九州国際交流協会の協働事業として実施する。

② 国際交流員派遣

国際交流員を小学校や市民センター等に講師として派遣し、自国の文化等を紹介することにより市民の異文化理解を促進する。

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し多文化共生社会を推進するための事業の実施もしくは協力を行う。

(2) ホストファミリーの支援事業 (1,925千円) [27年度 1,927千円]

国際交流や異文化を体験を希望する家族をホストファミリーとして登録し、留学生等との交流の機会の提供や交流事業を実施する等、ホストファミリーの支援を行う。

① 留学生にここご家族・ホームビジット

大学等に通う留学生とホストファミリーとの長期交流を支援する「留学生にここご家族」を実施する。また、JICA研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて、相互理解と親睦を深めるホームビジットを実施する。

(3) 留学生等の支援事業 (3,260千円) [27年度 3,435千円]

市内の大学等に通う留学生に対して生活支援を行うとともに、留学生が日頃の考えを発表する機会を提供する。また、大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者に奨学金を支給する。

① 留学生への情報提供

新しく北九州に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。

② 留学生支援

市内の留学生等を対象にした中古自転車のあっせん事業を実施する。また、各大学の留学生担当者による意見交換のため、留学生関係機関連絡会議を実施する。

③ 関原北九州大連友好基金

大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者3名程度に奨学金(月額2万円)を支給する。また、大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者3名程度に、奨学金(月額500元)を支給する。

④ 留学生弁論大会

北九州市内在住などの留学生が感じたことを発表してもらい、留学生の日本語学習の意欲増進と、日本人が留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催する。

(4) 青少年交流の促進事業 (1,184千円) [27年度 1,444千円]

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となるように、海外の青少年との相互交流を促進する。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を北九州市及び仁川観光公社と協働で行う。

(5) 多文化共生啓発事業 (1,479千円) [27年度 1,649千円]

地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行い、多文化共生について考える機会を提供する。

① 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会や講座、イベントなどを通して、多文化共生の啓発を行う。

② 多文化共生の人材づくり

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

(6) 市民ボランティアの育成事業 (25千円) [27年度 25千円]

北九州地域の国際交流や多文化共生を進めるための協力者として、その能力を十分発揮できるよう、市民ボランティアの育成を図る。

① ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に関係する市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行う。

(7) 外国人による地域づくり担い手育成事業 (5,685千円) [新規事業]

多文化共生の担い手となる外国人市民人材を発掘、育成するため地域連携コーディネーターを置き、外国人市民同士の共助支援や地域において活躍できる人材育成のプランづくりを行う。

① 多文化子育て共助プロジェクト（自治体国際化協会助成事業）

就労や子育てを経験した外国人市民によるニューカマーの外国人支援を目的に、行政やモデルケースとなる支援機関、団体へのヒアリングや視察、子育てを経験した外国人市民への聞き取り、座談会の実施等を通じて、共助を進めるキーパーソンを発掘し、その活躍の枠組みを整備するための調査を実施する。

② 多文化共生の担い手のための研修会

調査や各方面との連携から人選した、多文化共生キーパーソン外国人市民人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修会を実施する。

③ 多文化共生の担い手派遣学習会

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材を市民センターや学校等に派遣するトライアル事業を実施する。

平成 28(2016)年度

収 支 予 算 書

自 平成 28(2016)年 4 月 1 日

至 平成 29(2017)年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

公益財団法人北九州国際交流協会 平成28(2016)年度収支予算書

(正味財産増減計算書ベース)

平成28(2016)年4月1日から平成29(2017)年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,091]	[4,526]	[△ 435]
基本財産受取利息	4,091	4,526	△ 435
特定資産運用益	[900]	[920]	[△ 20]
特定資産受取利息	900	920	△ 20
受取会費	[700]	[700]	[0]
賛助会員受取会費	700	700	0
事業収益	[2,913]	[5,403]	[△ 2,490]
外国人市民への防災支援受託事業収益	404	404	0
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	999	999	0
人材育成受託事業収益	400	500	△ 100
中国帰国者支援受託事業収益	1,110	2,300	△ 1,190
多言語ママパパサポート受託事業収益	0	1,200	△ 1,200
受取補助金等	[66,450]	[49,441]	[17,009]
受取北九州市補助金	64,450	49,441	15,009
受取自治体国際化協会助成金	2,000	0	2,000
受取寄附金	[400]	[400]	[0]
受取寄附金	400	400	0
雑収益	[694]	[490]	[204]
受取利息	4	20	△ 16
その他雑収益	690	470	220
経常収益計	76,148	61,880	14,268
(2) 経常費用			
事業費	[77,010]	[66,297]	[10,713]
役員報酬	5,882	5,860	22
給料手当	36,481	29,239	7,242
臨時雇賃金	8,089	5,839	2,250
福利厚生費	8,469	7,014	1,455
旅費交通費	2,914	2,112	802
通信運搬費	688	999	△ 311
減価償却費	281	260	21
消耗什器備品費	210	830	△ 620
消耗品費	936	954	△ 18
材料費	145	135	10
修繕費	50	50	0
車両費	259	250	9
印刷製本費	931	470	461
光熱水料費	1,959	2,034	△ 75
リース料	143	143	0
使用料賃借料	3,693	3,329	364
災害保険料	118	121	△ 3
報償費	2,900	1,796	1,104
租税公課	18	988	△ 970
奨学金	1,100	1,360	△ 260
食糧費	140	350	△ 210
支払負担金	250	250	0
図書費	50	50	0
委託費	862	1,452	△ 590
雑費	442	412	30
管理費	[2,906]	[2,984]	[△ 78]
役員報酬	435	443	△ 8
給料手当	393	402	△ 9
福利厚生費	111	108	3
会議費	50	50	0
旅費交通費	10	10	0
通信運搬費	15	10	5
減価償却費	318	318	0
消耗品費	6	4	2
印刷製本費	3	3	0
光熱水料費	99	102	△ 3
リース料	16	16	0
使用料賃借料	163	149	14
租税公課	0	30	△ 30
交際費	75	75	0
支払負担金	100	100	0
委託費	977	979	△ 2
雑費	135	185	△ 50
経常費用計	79,916	69,281	10,635
当期経常増減額	△ 3,768	△ 7,401	3,633

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	1,223	△ 1,223
受取寄附金等振替額	2,126	0	2,126
経常外収益計	2,126	1,223	903
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,126	1,223	903
当期一般正味財産増減額	△ 1,642	△ 6,178	4,536
一般正味財産期首残高	214,302	272,676	△ 58,374
一般正味財産期末残高	212,660	266,498	△ 53,838
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 2,126	0	△ 2,126
指定正味財産期首残高	152,196	100,000	52,196
指定正味財産期末残高	150,070	100,000	50,070
III 正味財産期末残高	362,730	366,498	△ 3,768

※前年度の一般正味財産期首残高は、前々年度の決算額で調整した金額である。

公益財団法人北九州国際交流協会 平成28(2016)年度収支予算書内訳表

(正味財産増減計算書ベース)

平成28(2016)年4月1日から平成29(2017)年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	多文化共生 推進事業	関原基金 奨学金事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	1,458	1,965	3,423	668		4,091
基本財産受取利息	0	1,458	1,965	3,423	668		4,091
特定資産運用益	900	0	0	900	0		900
特定資産受取利息	900	0	0	900	0		900
受取会費	0	0	350	350	350		700
賛助会員受取会費	0	0	350	350	350		700
事業収益	2,913	0	0	2,913	0		2,913
外国人市民への防災支援受託事業収益	404	0	0	404	0		404
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	999	0	0	999	0		999
人材育成受託事業収益	400	0	0	400	0		400
中国帰国者支援受託事業収益	1,110	0	0	1,110	0		1,110
受取補助金等	64,516	0	0	64,516	1,934		66,450
受取北九州市補助金	62,516	0	0	62,516	1,934		64,450
受取自治体国際化協会助成金	2,000	0	0	2,000	0		2,000
受取寄附金	0	0	400	400	0		400
受取寄附金	0	0	400	400	0		400
雑収益	694	0	0	694	0		694
受取利息	4	0	0	4	0		4
その他雑収益	690	0	0	690	0		690
経常収益計	69,023	1,458	2,715	73,196	2,952		76,148
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	5,882	0	0	5,882	0		5,882
給料手当	36,259	222	0	36,481	0		36,481
臨時雇賃金	8,089	0	0	8,089	0		8,089
福利厚生費	8,433	36	0	8,469	0		8,469
旅費交通費	2,844	70	0	2,914	0		2,914
通信運搬費	681	7	0	688	0		688
減価償却費	281	0	0	281	0		281
消耗什器備品費	210	0	0	210	0		210
消耗品費	936	0	0	936	0		936
材料費	145	0	0	145	0		145
修繕費	50	0	0	50	0		50
車両費	259	0	0	259	0		259
印刷製本費	931	0	0	931	0		931
光熱水料費	1,959	0	0	1,959	0		1,959
リース料	143	0	0	143	0		143
使用料賃借料	3,693	0	0	3,693	0		3,693
災害保険料	113	5	0	118	0		118
報償費	2,900	0	0	2,900	0		2,900
租税公課	18	0	0	18	0		18
奨学金	0	1,100	0	1,100	0		1,100
食糧費	120	20	0	140	0		140
支払負担金	250	0	0	250	0		250
図書費	50	0	0	50	0		50
委託費	862	0	0	862	0		862
雑費	441	1	0	442	0		442
管理費							
役員報酬	0	0	0	0	435		435
給料手当	0	0	0	0	393		393
福利厚生費	0	0	0	0	111		111
会議費	0	0	0	0	50		50
旅費交通費	0	0	0	0	10		10
通信運搬費	0	0	0	0	15		15
減価償却費	0	0	0	0	318		318
消耗品費	0	0	0	0	6		6
印刷製本費	0	0	0	0	3		3
光熱水料費	0	0	0	0	99		99
リース料	0	0	0	0	16		16
使用料賃借料	0	0	0	0	163		163
交際費	0	0	0	0	75		75
支払負担金	0	0	0	0	100		100
委託費	0	0	0	0	977		977
雑費	0	0	0	0	135		135
経常費用計	75,549	1,461	0	77,010	2,906		79,916
当期経常増減額	△ 6,526	△ 3	2,715	△ 3,814	46		△ 3,768

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	多文化共生 推進事業	関原基金 奨学金事業	共通	小計			
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
受取寄附金等振替額	2,126	0	0	2,126	0		2,126
経常外収益計	2,126	0	0	2,126	0		2,126
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	2,126	0	0	2,126	0		2,126
当期一般正味財産増減額	△ 4,400	△ 3	2,715	△ 1,688	46		△ 1,642
一般正味財産期首残高	208,183	489	9,794	218,466	△ 4,164		214,302
一般正味財産期末残高	203,783	486	12,509	216,778	△ 4,118		212,660
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	△ 2,126		0	△ 2,126	0		△ 2,126
指定正味財産期首残高	52,196	100,000	0	152,196			152,196
指定正味財産期末残高	50,070	100,000	0	150,070	0		150,070
III 正味財産期末残高	253,853	100,486	12,509	366,848	△ 4,118		362,730

資金調達及び設備投資の見込みについて

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定の有無：なし

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の有無：なし